

★中3 冬期講習

今年も恒例の中3 冬期講習を行います。最後まで諦めず、今年だけは正月も休まず一緒に頑張りましょう！理・社もあります！是非参加してください。志望校の合格判定が出る全県模試も受験します。

詳細は先日配布した「中3 冬期講習のご案内」をご覧ください。

※現在 27日～2日の日程を検討中です。変更の際はお知らせします。

- 日 程 12/27(金)～1/2(木) 元旦はお休み
- 教 科 英・数・理・社
- 1/11(土) 全県模試(予定)



★冬期講習 小4～高3生(中3は除く)

今までの学習で取りこぼしてきた箇所を補いたい人や、苦手箇所を克服したい人は是非参加してください。教科、内容、日程は相談して決めます。高3生は共通テスト直前対策を行います。

詳細は先日配布した「冬期講習のご案内」をご覧ください。

- 日 程 12月中旬から1月中旬の間で12時間
- 時間と内容 相談して決めます。
- 教 科 小学生 国語 算数 英語
中学生 5教科
高校生 英・数 英検対策

★中学準備コース(小6生)

小6生の中学準備コースでは中学校英語の先取り学習(主に英文法の整理)と小学校の算数の復習や中学数学の予習を行います。前回の教科書の改訂以来、特に英語の定期テストが難しくなりました。もちろん中1の英語のテストもかなり難しい状況です。中学入学前に英文法を少し早めに触れておくだけでも入学後の英語の点数が大分違ってきます。ご興味のある方はお問い合わせください。

★中3理社コース

中3理社コースでは実力テストの範囲に合わせた理科と社会の実力テスト対策を行います。理科、社会は単なる暗記教科ではありません。考え方を指導します。入試直前に理科社会のおさらいをして実力テストの点数の底上げをしませんか。

★年末年始のお休み

12月28日(土)～1月6日(月)まで塾のお正月休みです。お間違えの無いよう、よろしくお願いいたします

す。※冬期講習受講者はお正月休み期間中にも授業が入る場合があります。



★クリスマスイベント

12月22日(日)に、サンサン横手で、こども英語教室のクリスマスレクリエーションイベントを行います。時間は10:00~12:00です。ぜひ遊びに来てください。ご家族やお友達も大歓迎です。



詳細は、このQRコードを読み込んでください!



★第3回英検のご案内(本会場)

- 申込み締切: 12月16日(月)(ネット申し込み)
- 1次試験 1月26日(日)
- 受験料: 1級 12,500円 準1級 10,500円 2級 9,100円 準2級 8,500円 3級 6,900円
4級 4,700円 5級 4,100円

※準会場(学校)は締切、受験料、受験日が異なります。担当の先生にお尋ねください。

★2024年度第2回英検合格者

2級:2名、準2級:5名、3級:7名、4級:1名
合格おめでとうございます!



学習塾のクラス報告

●小学生

算数は計算と各自の苦手分野をやっています。計算は、ただ答えを出せるだけではなく早く正確に解けること、6年生までに四則計算と、できれば分数も入った少し複雑な計算問題が解けることを目標にしています。苦手分野は(特に高学年は)中学に入ってから困らないように大事な分野を中心にやっています。最近では4桁割る3桁の割り算(筆算)、比、約数倍数、体積、速さの問題等をやっています。国語は読解力の養成です。進級式の読解力養成問題集を使っていますので、各自のペースで進められます。全校テストの範囲をお知らせください。テスト勉強をやりませう。

●中1

英語は教科書中心ですが今は代名詞をやっています。文法でいくと1年生で一番難しい分野になります。じっくり時間をかけたいと思います。数学は計算分野が終わり比例・反比例、図形と進んでいきます。この辺から得意不得意が出てきますが各自にあった目標設定で進めていきます。全体的にまだ小学校の雰囲気が出ていません。中学校生活にはだいぶ慣れてきた様子ですが、疲れを残して塾に来る人もまだいます。慣れるまで

もう少しです、頑張ってください。

●中2

授業中、集中する時とリラックスする時の使い分けが出来るようになってきました。英語は教科書中心ですが教科書自体が難しいので和訳はもちろん、ワーク演習でも難儀している人が多いです。塾の単語プリントを繰り返したり、教科書の音読をやってください。教科書のQRコードをスマホで読み込めば音声があるので音読練習に利用してください。数学は証明問題です。この分野も得意、不得意の差が激しいですが基本問題のプリント等を使って取り組み安いように進めていきます。

●中3

気が付けばもう12月。出願先は年明け1月6日の実力テストの結果を参考にして決まります。目標の合計点数に達していない人がまだいますが、勉強はやめずに続けてください。英語は塾の単語チェックテストを2回目で満点を取るくらいに頑張ってください。今年の3年生は一枚のチェックテストが合格点数になるまで時間がかかっています。圧倒的に語彙が足りていません。数学は各自に合わせた内容で進めていますが塾の内容を必ず復習してください。次に来的时候に前回の復習に時間を取らずに次の内容に進みたいです。一般的に勉強をやり始めて成績が上がってくるまで3ヶ月かかる、と言われていています。毎年受験生を見ていますが、正月明けから本格的に成績が上がってくる人が多いです。まだこれから！と思って真剣に勉強してください。応援しています。

●高1

入学してそろそろ1年が経ちます。定期テストの点数も徐々に上がってきました。だいぶ勉強の仕方が分かってきたと思います。テストに出る所がだいたい分かったら、次はそれをどうやって頭に入れていくか考えてください。勉強時間が足りなければ時間を取るようになってください。教科によっては多すぎて手が回らないものもあると思います。その時は量をいくらか減らして、とりあえず最低限の内容で臨んでください。定期テストの結果が指定校推薦等で3年生になったときに影響します。今から頑張りましょう。

●高2

英語はセンター試験の文法問題と構文演習をやっていますが構文演習が終わり次第、共通テストの長文問題演習に入ります。数学は引き続き、教科書例題中心で進めていきます。教科書改訂以来、数Cが加わり、特に文型の人負担が増えました。そろそろ数IAとIIBの小問演習を並行して進めていきます。来年は受験生です。志望校がだいたい決まってきた人もいます。赤本等で過去問に目を通してみてください。目標がはっきりしてくるはずですよ。

●高3

共通テストまで残すところ約一ヶ月。いよいよ本番です。まずは共通テスト。理想は本番演習を増やして、自分の勝ちパターン（こんな感じで臨むとうまくいく、という自分なりのテストの受け方）を見つけてください。私大専願者は引き続き過去問で志望校の問題研究をたくさんやってください。全員に言えますが軽くでも

良いので必ず復習はすること。自分が受験するテストに頭が慣れてきます。最近、やっと受験生らしくなってきたと思います。この調子で勉強してください。現役生は試験前日まで成績が伸びます。

★保護者面談

年に2回(7月と12月)に学習塾の保護者面談を行っています。ご要望があれば面談期間以外でも対応します。お問い合わせください。

★奨学金の予約採用と在学採用について

日本学生支援機構の「貸与型奨学金」(返済が必要で無利子(第一種)、有利子(第二種)があります)の申込方法には高3時に申請する「予約採用」と大学等入学後に申請する「在学採用」があります。二つの違いは収入基準です。予約採用より在学採用の方が収入基準の目安額が高くなります。ですので、共働き等で収入基準を超えてしまっている家庭ですと在学採用を検討した方が良いかもしれません。同じことが「給付型奨学金(返済不要)」にも言えるようです。成績基準も一般的に考えられているよりも低い感じですが。詳細は「進学資金シミュレーター - JASSO」でネット検索してみてください。

子ども英語のクラス内容



●ピンククラス

英語を学ぶ上で非常に大切な年代です。日常で使う単語を繰り返し練習して覚えていきます。飽きさせないように手短かに楽しく教えていきます。子供たちには遊びながら基本的なフレーズに慣れ親しんでもらいたいと思っています。

●ホワイトクラス

このクラスは英語を使うことと単語の習得に焦点を当てます。Q&A形式で単語やフレーズを学んで自信がいたら、徐々にABCの書き方を紹介していきます。

●イエロークラス

生徒たちはたくさんの単語やフレーズを覚えられる能力を持つでしょう。このクラスは読み書きに慣れ親しんでもらうことに焦点を当てます。英語の歌やスキット(寸劇)で楽しく学んでいきます。

●オレンジクラス

このクラスでは、英語は楽しい、面白いだけでなく、コミュニケーションの重要なツールであることを生徒に理解してもらいたいと思っています。彼らに自信をつけさせるために、単語と簡単なQ&Aをクイックに練習します。それから、フォニックス、単語、リーディングで彼らの理解力をテストします。

★ハロウィンパーティー

10月27日(日)、こども英語のハロウィンパーティーをサンサンヨコテで行いました。大勢のご参加ありがとうございました。ホストのパットリック、デルマー両先生のもとで5つのゲームやアクティビティーで皆さんとても元気に楽しく英語で遊びました。ご家族の皆様も楽しそうで良かったです。今後も子育ての一環として教室の外でのイベントを行っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。



クリスマスツリー

自分にとって当たり前なことが、日本に長く住んでいると不思議に思えることがあります。それはアメリカではクリスマスの季節になると、本物のクリスマスツリーを部屋に飾るのです。この時期になるとルーフにクリスマスツリーを固定して走る車をよく目にします。なぜわざわざ本物の木を家に持ち込むのかは、はっきりしていませんがヨーロッパ、特に北欧では何百年もの間、家の中に緑を持ち込む伝統があったことは分かっています。例えば冬のイギリスでは、いろいろな植物を家に持ち込みました。それらの多くはローズマリーや月桂樹などで素晴らしい香りがしました。これは、冬は寒くて寂しいけれど、春には再び暖かくなり新しい命が芽生えることを思い起こさせてくれたものです。多くの国ではクリスマスの間「ユールログ」という、とても大きな丸太を燃やして家を暖かくしました。今では丸太を燃やすと家が汚れてしまうため「ピュッシュ・ド・ノエル」または「ユールログ」という名の木を模したケーキを作って伝統を守っています。クリスマスツリーの起源は1800年代初頭にドイツからアメリカそして他のヨーロッパ地域に伝わったとされています。多くの家庭では利便性と再利用性からプラスチックのツリーの使用が増えましたが、寒い冬に木を伐採する人はまだいます。

パット